

<この資料は職員に配布したものです。>

平成27年度「夢の持てる楽しい学校づくりへのメッセージ ―チーム八木北として共に育てるために―」結果・考察

12月に行った保護者調査の結果をまとめました。この資料を元に、学校評価(自己評価)を行っていききたいと思います。今年度は評価項目の見直しを行いましたので、昨年度と比較できないものもありますが、類似したものは、比較してあります。また、調査の対象もPTA役員から全児童保護者対象に変更しました。全体的にA・Bの回答が多く、昨年度と比較できる項目については概ねA・Bの回答が増えていますので、一定の評価を頂いているものと思われます。しかし、C・Dをつけている保護者もいます。この調査を、保護者との掛け違いを埋めるチャンスと捉え、保護者会、書き初め展、電話などこれからの生活の中で改善のために会話を増やすことを心がけて参りましょう。

(1) 調査票回収率

学級	な1	な2	1の1	1の2	1の3	2の1	2の2	2の3	2の4	3の1	3の2	3の3	3の4	4の1	4の2	4の3	5の1	5の2	5の3	6の1	6の2	6の3	全校
回収	3	6	34	34	33	29	27	27	27	29	28	29	30	33	29	33	36	37	30	34	37	36	641
児童数	3	6	34	34	35	29	27	28	27	31	30	31	31	33	33	33	38	39	37	39	38	38	674
回収率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	94.3%	100.0%	100.0%	96.4%	100.0%	93.5%	93.3%	93.5%	96.8%	100.0%	87.9%	100.0%	94.7%	94.9%	81.1%	87.2%	97.4%	94.7%	95.1%
	100.0%		97.1%			99.1%				94.3%				96.0%			90.4%			93.0%			95.1%

全校の回収率は95.1%です。

学年別に見ていくと、低学年は高く、高学年になるに伴って低くなっています。

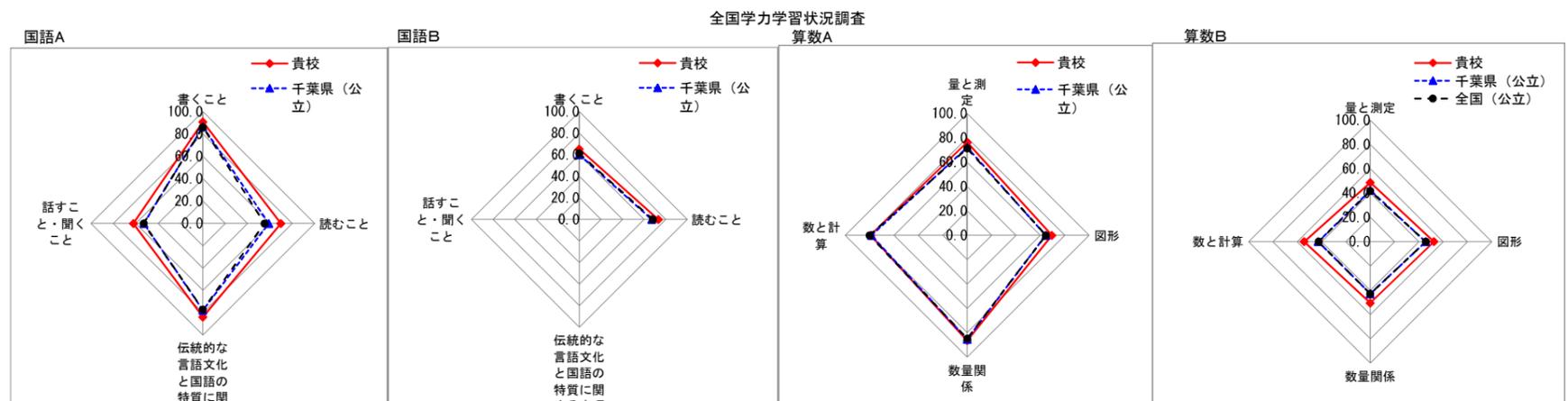
もしかすると家庭数と誤っている可能性もありますが、調査票を「出せない」「(学校の様子が)わからない」という思いもあると考えられます。

このような調査に積極的に協力してくれる保護者との関係づくりのために、普段から児童の様子についてよく保護者と会話をしていくことが大切だと思います。

(2) 保護者の評価及び考察

	項目	考察
1	<p>1 お子さんは楽しく学校生活を送っていると思いますか。</p>	<p>「学校に楽しく通える」ことが、子どもたちにとって何より大切なことです。肯定的結果が96%(昨年度90%)と高いです。このことは教職員と児童・保護者の関係の良好さが表れているものと思われます。ただ、全校でCが20名、Dが5名いますので、記載のあった児童への支援が大切です。昨年度に比べてかなり改善しているのは、チームで取り組み、保護者や児童との教育相談や担任の先生の声かけ等の成果だと考えています。休んでいる児童への手厚い対応も効果が出ています。今後、さらに学校として何が出来るのか考えていかなければいけません。</p>
2	<p>2 お子さんは、元気にあいきつしていると思いますか。</p>	<p>肯定的評価が85%(昨年度は82%)と向上しています。昨年度との比較するとAの評価が増加しています。今年度、さわやか委員会での毎日の挨拶の取り組みや小中一貫でのあいきつ運動、日々の取り組みが効果を上げています。3学期に校長先生のリードで行っている「あいきつ名人」の取り組みもさらに効果を高め、登校指導の際のあいきつに元気がなくなってきています。今後、90%を超えるよう工夫した取り組みをしていきたいと思います。</p>
3	<p>3 お子さんは、「ありがとう」「ごめんなさい」が言えますか。</p>	<p>「やさしい子」に対する評価として今年度新設の項目、肯定的評価は89%でした。昨年度は「思いやりのある子に育っていると思いますか」の質問で、88%の肯定的評価でしたので、ほぼ同様の結果です。「ありがとう」「ごめんなさい」はコミュニケーションを築く上で大切な言葉です。子どもたちが日常で使えるよう指導をしていきましょう。</p>
4	<p>4 お子さんは、身の回りの整理整頓をする子に育っていると思いますか。</p>	<p>重点目標の(きれいにする子)から、新設しました。肯定的評価は51%です。保護者としては、家での子どもの様子から判断したようです。学校での清掃活動の評価とは違った視点になるとは思いますが、家で片づけをよくする子に育って欲しいと思います。美化委員会がアンケートをして、子ども自身の自己評価をさせていく等もよいと思います。(1)片づけができるか。(2)そうし中学校をきれいにしているか(3)家で片づけを手伝っているか。等)それを保護者に伝えることで、家庭を巻き込むことができます。</p>
5	<p>5 学校は、かがやき学習やわくわく発表会等、基礎的な学力アップに力を入れていると思いますか。</p>	<p>昨年度の質問事項が、「児童の基礎的な学力(読む・書く・計算等)は定着してきていると思いますか。」であったので、単純に比較することはできませんが、肯定的評価が95%で、A評価が40%を超え高い評価になっています。今年度はかがやき学習に加え、習熟度別の算数や交換授業など指導法の工夫にも力を入れ、授業の充実を図ってきたことが評価されていると思われる。しかしながら、否定的な評価をしている方も未だ30名おり、さらに努力を必要とします。</p>
6	<p>6 学校は、学年に応じた分かる授業を行おうとしていますか。</p>	<p>保護者の肯定的評価は95%で、昨年の77%と比較すると大幅に増えています。授業形態の工夫や教材研究、ICTの充実の成果だと思います。D評価の保護者も減っています。A評価がもっとふえるよう努力を続けていきたいと思います。今後も、算数を中心として「考える力」を高める授業づくりに取り組んでいきたいです。全国学力学習状況調査のAB領域の26年度、27年度の伸びのわかるグラフを下記に資料として載せました。「考える力」を支える、基礎学力のアップも大切です。朝のかがやき学習、朝学習など、その時間で「どんな力をつけたいのか」を意識し、具体的に計画的にたてるのもよいと思います。調べ方などの学び方のスキルを教えていくことも大切です。</p>
7	<p>7 学校は、運動会、がんばり走練習などで体力向上に努めていると思いますか。</p>	<p>昨年度の質問事項は「児童は健康な子どもに育ってきていると思いますか。」という内容であったので、単純な比較はできませんが、今年度の肯定的評価は98%で、高い評価でした。継続は力なりです。学年、学級で具体的な活動を設定し、継続することができると思います。日々の体育や休み時間の遊びなど、積極的に体を動かす子どもを育てたいです。ジャンピングボード、遊・友ランキング等で興味を持たせましょう。教師も子供と一緒に汗を流していくことも必要だと思います。</p>
8	<p>8 学校は、部活動や行事、様々な学習活動を通して、子どもたちに活躍の場を設けていると思いますか。</p>	<p>95%の回答が、肯定的です。下記にある4年～6年児童の部活加入率も75%と高く、部活動への期待も高いです。体力づくり、情操教育、両方の面で功を奏しています。音楽部は音楽発表会以外に「千葉県吹奏楽コンクール」「青風祭り」にも参加し、人前での演奏にも自信をつけることができました。陸上部では多くの児童が入賞し「男子3位」「総合5位」、ミニバス女子「3位」の好成績を残しました。とても意図的継続的に指導頂きました。児童の結果に結びついていまして、意欲化が図られました。各部活とも年間を見通した指導、指導力の向上の成果だと考えます。運動部では、子どもに何が出来る選手に近づけるか到達目標を可視化させると、がんばることが具体的に、選抜にも納得がいきやすくなると思います。直接指導ではない先生方や外部の先生方の支えも大きかったように感じます。</p>
9	<p>9 学校は、子どもの安全を守るように努めていたと思いますか。</p>	<p>肯定的な意見が92%(昨年度は80%)です。学期はじめや早帰り時の下校指導や校外学習の時の下校指導など評価をいただいたものと思えます。黄色のベストを職員が着用し、外に出てたり、青バトで巡回したりしているのも「見える化」という点で良かったと思います。タイムリーなメールも効果があるとあります。また、引き渡し訓練の実施もよい評価につながったと考えます。</p>

10	開かれた学校への更なる推進	<p>10 学校は、保護者や地域と連携協力して教育活動を行っていると思いますか。</p>	<p>92% (昨年91%) が肯定的評価です。A評価も増えています。かがやき学習、書道、読み聞かせ、珠算、登校指導、昔遊びなど保護者や地域の方々に今年度もたくさん支えていただきました。また、家庭科ボランティアも新しく始まりました。しかしながら、C48名D3名の保護者が否定的な回答をしています。積極的に今後さらに向上できよう工夫した取り組みが求められています。</p>
11		<p>11 学校は、教育活動の様子を学校だよりや各種行事を通して、積極的に知らせていると思いますか。</p>	<p>97% (昨年度は96%) の方が肯定的に捉えています。授業参観・懇談会や作品展など、保護者の関心が高く、下記にある参加率も高いです。引き続き、学校便り、学年便り、ホームページ等様々な手段を通して、子どもたちの活動の様子を知らせていくことが大切だと思います。一番大切なのは日常の会話(ロコミ)です。一人ずつへの対応も、今まで通り大事にしていければと思います。ホームページの充実も素晴らしいです。</p>
12		<p>12 先生は子どもを理解しようと努めていると思いますか。</p>	<p>昨年度は、肯定的評価が73%と低かったのですが、今年度は90%とかなり改善しました。今年度は、昨年度の反省から個人面談を夏休み中に実施したり、児童の気持ちにより添い担いが丁寧に対応したり、学年でチームとして取り組んできた結果だと思います。しかしながら、否定的なC・Dの回答が全校でCが61名、Dが7名で以前多い状況にあります。その方との会話のチャンスと捉えていければと思います。書き初め展で来校するのを待って、ちょっと話をすると、そんな風に自然な出会いのようにして意図的に会話することが大切です。年間通した授業参観、懇談会の内容を学年で決めて、保護者に伝えたり、保護者の意見を入れる余地を残しながら計画を立てたり、学年でiPadに写真、動画を計画的に入れて子どもの活躍を「見える化」させると具体的な話しが弾み、繋がりが持ちやすくなると思います。懇談会へのお誘いも子どもを通じて行ってください。</p>
13		<p>13 保護者として先生に気軽に相談できると感じますか。</p>	<p>今年度新設した設問です。保護者が先生に相談しやすい状況を作っていくことは、連携して児童を支援するために大変重要だと考えます。85%の保護者が肯定的ですが、否定的なC・Dの回答はCが81名、Dが13名と決して少なくありません。会話のチャンスと捉えていければと思います。この設問にC・Dと書いてくる方はきっと話したいと思ってるのではないのでしょうか。歩み寄りましょう。前項目と同様です。関わりをどう創り出して行くか、学年チームで意図的に計画できると良いと思います。</p>
14		<p>14 学校はいじめのない学級作りに取り組んでいると思いますか。</p>	<p>今年度は、肯定的な回答は84%です。昨年度は、質問内容が「いじめはなく、児童は、思いやりのある子どもに育ってきていると思いますか。」でしたので、単純比較はできませんが、改善が見られます。しかし、否定的なC・Dの回答はCが92名、Dが13名で、さらに向上させる必要があります。100%を目指していきたいです。C回答、D回答の方と会話できたらいいと思います。クラスだけのことでなく職員間で情報を共有し合い、チーム八木北として取り組んで行きましょう。</p>
15		<p>15 ご家庭では学校との連携にご協力いただけましたか。</p>	<p>この項目は、ご家庭に向けて読みました。肯定的な回答は92%、昨年度は97%ですが、調査対象がPTA役員だったため、単純比較はできません。バザーに向けてはたくさん保護者の方々に積極的に活動していただきました。また、生活科の町探検で保護者の協力をいただいたり、持久走大会では今年度も安全ボランティアを募ったりしました。行事に積極的に保護者を巻き込んでいったり、参加しやすくしていく工夫も大切かと思います。マシンや本の修理、花壇にコーナーを設けてガーデニングボランティア、職員と一緒にペンキ塗り等アイデアを出し合ってみましょう。</p>



学習参観・懇談会への保護者参加

	合計	学習参観		懇談会	
		参加人数	参加率	参加人数	参加率
第1回(4/20)	668	579	86.7%	428	77.1%
第2回(7/3)	669	542	81.0%	270	49.8%
第3回(10月7日)	673	516	76.7%	235	45.5%

夏休みのかがやき学習参加率

平成24年度	71%
平成25年度	74%
平成26年度	80%
平成27年度	71%

部活動加入率

	陸上	ミニバス	吹奏楽部	合計	加入率
4年	36	22	22	80	81%
5年	28	43	16	87	74%
6年	29	31	23	83	72%
合計	93	96	61	250	75%

＜欄外の記述＞
お礼：校長先生をはじめ、チーム八木北の先生方に素晴らしい学びの場を与えてもらっている。(1年)安心して学べる。授業が分かりやすい。(2年3名) やさしく子どもを見守ってくれて感謝している。(4年)子ども一人ひとりに目を向けている。(5年)
学年全体で、教科毎の先生方の協力体制には感謝します。子どもたちの興味や知的好奇心が刺激され「学ぶことが楽しくなってきた」と子ども自身が話している。(5年)
▲アンケートが分かりづらい(1年)▲自分のクラスはよいのですが、全体としてはあまりよい状態ではないように思う。(4年)
▲かがやき学習等学力アップにさらに力を入れて欲しい(4年)